

松原市教育委員会 9月定例会 議事録

1. 日 時 令和4年9月21日(水) 午後4時00分

2. 場 所 松原市役所 301会議室

3. 付議事件等

(1) 議 案 第24号 令和4年度松原市教育委員会表彰被表彰者の選定について
第25号 松原市指定有形文化財の指定について

(2) その他 ○令和3年度決算状況について
○松原市民図書館活動報告(令和3年度)の提出について
○松原の公民館活動(令和3年度)の提出について

出席委員 美濃教育長 田中教育長職務代理者 有馬教育委員 和田教育委員
佐野教育委員 比嘉教育委員

事務局 小峰教育総務部長 浦井理事兼教育政策課長事務取扱 山森学校教育部長
坂野市民協働部長 中瀬福祉部長 伊藤理事兼福祉部次長
田中教育総務部次長兼文化財課長 森岡副理事兼学校給食課長
矢野学校教育部次長 下岸市民協働部次長 村上子ども未来室長
田中教育総務課長 猪俣教職員課長 森教育推進課長 前崎地域教育課長
大西教育研修センター長 大宅いきがい学習課長 藪野子ども施設課長

美濃教育長	<p>それでは、会議に入りたいと思います。</p> <p>ただいまの出席委員は5名でございます。私を含めまして定足数に達しておりますので、会議は成立いたしております。</p> <p>(開会宣言 午後4時00分)</p> <p>これより9月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録の署名委員を指名いたします。</p> <p>委員会会議規則第17条第2項の規定により佐野委員にお願いしたいと思います。</p>
佐野委員	はい。
美濃教育長	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、初めに教育長報告を行います。</p> <p>お手元の資料に基づき報告をさせていただきます。</p> <p>まず初めに、8月22日ですが、本市教育委員会主催の教員向けサマーセミナーを松原市文化会館で行いました。内容は、2部構成で開催をしまして、第1部は松原市いじめ問題専門員の4名をお招きして、学校園で生起しがちな事例を基にパネルディスカッションを行いました。第2部では、本市の通級指導の担当教員から実践報告をいただいたところでございます。</p> <p>続いて、8月26日ですけれども、大阪府都市教育長協議会の夏季研修がございまして、国・府への要望書案の協議などを行ったところでございます。</p> <p>また、9月6日には、今日の議案第25号に係るものなんですけれども、文化財保護審議会からの答申をいただきました。</p> <p>9月8日には、松原ライオンズクラブの9月第1例会ということでお邪魔をいたしまして、松原市の教育の現状についてということで、1時間程度のお話をさせていただきました。</p> <p>それから、9月13日、14日ですけれども、セーフコミュニティの再々認証に向けて、6つの重点テーマの各対策委員会に対して、オンラインで審査員から事前指導が行われたところです。</p> <p>9月16日には、市議会議員選挙が終わっての初めての臨時議会が開かれました。</p> <p>また、9月18日には、松原市民運動広場でこどもスポーツ中央大会が行われました。これまで、コロナ禍で開催できなかったものですが、ソフトボールを通じてチームワークのすばらしさとか、日頃の努力の成果というのをしっかり見せていただけたように思っております。</p> <p>20日は庁議が行われたところです。</p> <p>私からの報告は以上でございますが、何か今の報告についてご意見、ご質問ございませんでしょうか。よろしいですか。</p>
各委員	なし。
美濃教育長	<p>それでは、議事に入る前に、新型コロナウイルス感染症対策の実施による小中学校の現在の状況について、事務局から報告をお願いします。</p>
山森学校教育部長	<p>2学期がスタートをしております。この間の状況につきまして、子どもたちの様子、それからコロナの感染を中心にご報告を申し上げたいと思いま</p>

す。

まず、コロナの感染状況でございますが、一口で言いますと減少傾向が今、続いております。

松原市のまず感染状況で言いますと、8月は6,637人と7,000人近くの感染者があったわけですが、9月は20日、昨日現在で1,749名と、この数字だけ見ても、ずっと下がってきているのがお分かりかなというふうに思っております。

小中学校の感染で申しまして、傾向は全く同じでございますが、8月は380人の児童・生徒の感染がございましたが、9月は昨日までで160人と、月末までいっても半減に近い形になるのかなと思っております。

それに伴いまして、教職員の感染も8月は45名と、大変多かったんですけども、9月は昨日までで10名ということで、なかなかゼロというふうにはなりませんけれども、冒頭に申し上げましたように減少が続いているということでございます。

そんな中、8月29日から2学期がスタートしております。大変まだ暑い時期でございましたし、2学期への急なトップスピードということも考えたときに、中学校では2学期スタートから3日間程度、小学校では1週間程度の短縮授業期間を設けまして、緩やかなスタートを切ったということでございます。

やはり、コロナでの感染対策を十分にやりながらということは、なかなか変わらないわけですが、この2学期というのは1年間で一番長い学期でありますし、学習面においても学校行事においても、大変様々な取組が詰まっている学期でございますので、やはり学びを止めないということを十分に念頭に置きながら、子どもたちの教育活動を保障してまいりたいなど、このように思っております。

先ほど学校行事と申しましたが、明日、9月22日は中学校の体育大会が市内7校同時に行われるはずですが、というのは、ちょっと天気のほうが怪しくございますので、ひょっとすると順延ということも頭に入れながらの対応になるのかなと思っております。

小学校のほうは、10月2日、日曜日に行います。残念ながら、来賓のほうはまだご辞退をいただいておりますので、保護者のほうは各家庭2名ずつ入っていただいて、子どもたちの頑張りを見ていただこうと思っております。

最後に一点、子どもたちのよく頑張ったことを報告をさせていただきたいんですが、9月17日、先週の土曜日に、こども未来国連会議というものがグランフロント大阪で行われました。

この会議の目的は、子どもたちが今、国連で言われているSDGsについて、自分たちの考えをまとめて発信をするといった趣旨の会議で、大阪府内から小学生が5名1チームで、8チームが大阪代表として出場したんですけども、この8チームの中に松原市からは河合小学校と三宅小学校の6年生が5人1チームで出ておりました。

河合小学校につきましては、テーマがSDGsの中でも、住み続けたい未来の大阪をどうつくっていくんだという視点の中で、子どもたち同士が障がいのある方や外国人が来たときに、やっぱりいいまちだな、住みやすいなと思えるまちにするために、僕たちはこんなことを考えますといったことを、グループで相談をしてプレゼンテーションをしていきました。

三宅小学校は、フードロスというところに視点を当てまして、やはり自分たちが日々食べている給食の残菜について、これを減らしていくのか、もしくは残った残菜を再利用するためにはどうするんだというようなことを考えてプレゼンテーションをしました。

これは、スポンサーがいろいろついていまして、最後に賞を8チームのうち3チームだけが頂けることになったんですが、6チャンネルの朝日放送の賞が1つでした。続きまして、8チャンネルの関テレ賞というのがありまして、そして最後に、この8チームの中の言わば優勝チームというのが、優秀賞というのを頂いたんですが、それを三宅小学校の給食の残菜チームが頂くことができました。

この優秀賞というのがどういう意味を持つかといいますと、次回、3月末に東京で開かれますこども未来国連会議——国際会議のほうですね、つまり日本代表として三宅小学校が出る、国際会議ですので各諸外国からもそういう子どもたちが集まって、共に世界規模でSDGsを考えていく、こういう会議への出場が決まったということです。

子どもたち、賞を頂いた三宅小学校も、それから河合小学校も、大変よく頑張ったということでご報告させていただきます。

私からは以上でございます。

美濃教育長

説明が終わりました。

ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。よろしいですか。

各 委 員

なし。

美濃教育長

それでは、これより本日の議事に入りたいと思います。

議案が2件、その他が3件となっております。

なお、今回も説明の終わった者から退出させていただきたいと思います。

以上につきまして、いかがでしょうか。

各 委 員

異議なし。

美濃教育長

ありがとうございます。

矢野学校教育
部次長

議案に入ります前に、8月の教育委員会議会で質問いただいたことについて、ご回答させていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

資料のほうの令和3年度教育振興基本計画の重点目標に関する指標と評価についてということで、基本的な方針2の重点目標、下の部分、学校園運営体制の充実と教職員の資質向上の成果指標D-3です。

成果指標D-3、学校として組織的に取り組んでいる学校の割合のところ、全国学力・学習状況調査の学校質問紙のうち、その質問「学級経営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか」に「そう思う」と答えた割合が、令和元年度調査では100%であったのに対し、令和3年度調査結果では85.8%に下がっていることについて、下がっている要因となった学校の状況も含めて、委員会としてはつかんでおられるのかということと、令和4年度調査の結果はどうだったのかというご質問

をいただいております。

まず、令和3年の調査では、この質問に「あまりそう思わない」とやや否定的な回答をした学校に、実はその内実を聞き取りしましたところ、共通して、コロナ禍の中、学校でこれまでと同じような対面や集合しての情報共有の場が少し減っているということについて、学校長は危機感を募らせておられて、やや否定の選択項目でその危機感を表明したということでございます。その学校は3校ございました。

その後、校内の情報共有の在り方についても、当該の3校と教育委員会として情報を共有し、学校管理職とその後伴走を行っております。

今年度、令和4年度の調査についてでございますが、実は同じ質問がなくなっております。ただ、同一に比較はできませんが、関連の「組織的に取り組む」に近い質問項目によりますと、やや否定的な回答をした学校は減少しております。2校です。

ただ、その2校、90.9%の「満足」な答えのうち、それに入らなかった2校に関しましても、しっかり伴走しておりますし、2校をはじめ全ての学校の状況としても、教育委員会としてきちっと把握して指導、伴走を続けているということでございます。

回答は以上です。またご質問があれば、よろしく申し上げます。

美濃教育長

よろしいですか。

各委員

はい。

美濃教育長

それでは、議事のほうに入りたいと思います。

まず初めに、議案第24号「令和4年度松原市教育委員会表彰被表彰者の選定について」を議題といたします。

事務局より説明を求めます。

浦井理事

それでは、議案第24号「令和4年度松原市教育委員会表彰被表彰者の選定について」でございますが、松原市教育委員会表彰につきましては、実施要領に基づき本市の教育の振興に関し功績顕著な者、児童・生徒、個人及び団体として表彰に値する者について表彰するものでございます。

この要領に照らしまして、教育委員会事務局、各部長より推薦のありました被推薦者につきましては、議案書の次のページの名簿をご覧くださいませようをお願いいたします。

令和4年度文化の日の表彰候補者といたしましては、名簿の22名の個人でございます。

この内訳でございますが、教育功労者の社会教育関係といたしまして、表の左側に振ってあります番号の1から17の方々でございます。

教育功労者（学校保健関係）といたしまして、18番から22番の方々でございます。

また、令和4年度も3年度に引き続き、児童・生徒の表彰候補者がございませんでしたが、近畿大会6位以上、全国大会10位以上の成績を競技会などで収めました小学生31名、中学生27名の方々につきましては、市の表彰候補者に上がっております。

以上でございます。ご審議のほうよろしくをお願いいたします。

美濃教育長	説明は終わりました。 ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。
有馬委員	ということは、先ほどの三宅小学校が優秀賞を取った、こども未来国連会議のほうは、該当しないということになるのでしょうか。
浦井理事	今回、この被表彰者の選定につきましては、10月31日を基準日といたしまして区切らせていただいております。今回は、こちらには載ってきませんが、載せさせていただきますか。また来年度、ちょっと時期が遅れてしまいますが、載せさせていただきますか。以上でございます。
有馬委員	ありがとうございます。
田中委員	毎年同じような質問というんですか、委員の方々から質問があると思うんですけれども、やはり功労者は功労者として表彰していただくというのは当然ですけれども、そうじゃなくて、やはり補足資料の3ページにありますように校園長が推薦したりする教職員だとか児童、こちら側を優先というんですか、名前を挙げてやったほうが、彼らといいますか、子どもたちも含めて何かいいように思うんですよね。 毎年、この3年間ないですよというお話だったんですけれども、その辺をできるだけ努力して、表彰してやろうという気構えを持って、校長先生の方々に推薦していただけたら、ありがたいなと思うんですけれども。 これ、毎年、どなたかの委員の方々がおっしゃっていると思うんですけれども、その辺だけ、また次年度以降になると思うんですけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。 以上です。
美濃教育長	しっかり、その辺、従来こうだったからというふうにこだわらないように、前向きに考えていきたいと思ひます。 ほかにご意見、ご質問ありませんでしょうか。よろしいですか。
各委員	なし。
美濃教育長	では、ないように見受けられますので、議案第24号「令和4年度松原市教育委員会表彰被表彰者の選定について」を可決することにご異議ございませんか。
各委員	異議なし。
美濃教育長	異議なしと認めます。よって、議案第24号「令和4年度松原市教育委員会表彰被表彰者の選定について」は可決されました。 次に、議案第25号「松原市指定有形文化財の指定について」を議題といたします。

	事務局より説明を求めます。
田中教育総務 部次長	<p>議案第25号「松原市指定有形文化財の指定について」ご説明いたします。</p> <p>このたびの議案提案につきましては、立部遺跡火葬墓出土須恵器蔵骨器（壺・蓋）附火葬骨ほか蔵骨器内遺物につきまして、松原市文化財保護条例第6条第1項の規定に基づき、松原市指定有形文化財として指定することについて承認を求めることとさせていただきます。</p> <p>指定物件の概要につきましては、議案書の4ページに記載しておりますが、指定に係る経過につきましては、令和4年6月定例教育委員会議におきまして、市指定文化財への指定における松原市文化財保護審議会への諮問につきまして議案提案し、ご承認いただいたものでございます。</p> <p>去る令和4年7月26日に開催されました松原市文化財保護審議会におきまして諮問を行いました。</p> <p>このたび、先ほど教育長からの報告もありましたとおり、9月6日に同審議会より松原市指定文化財として指定することが適当であるとの答申をいただいたものでございます。</p> <p>今回、新たに1件の文化財が指定されますと、松原市の指定文化財は9件となりまして、考古資料といたしましては初めての指定となります。</p> <p>以上でございます。よろしくお願いいたします。</p>
美濃教育長	<p>説明は終わりました。</p> <p>ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
田中委員	これは今後の保管はどうされるんですか。
田中教育総務 部次長	<p>現在のところ、市役所の8階の倉庫に置いているんですけども、今後指定されました際には、ふるさとびあプラザ等におきまして、市民向けに展示したいと思っております。</p> <p>ただ、場所の確保等の都合もあります。少しお時間をいただくことになるかと思っておりますけれども、見ていただけるようにしていきたいなというふうに考えておるところです。</p> <p>以上でございます。</p>
田中委員	ありがとうございます。
美濃教育長	ほかにはございませんでしょうか。よろしいですか。
各 委 員	なし。
美濃教育長	ないように見受けられますので、議案第25号「松原市指定有形文化財の指定について」を可決することにご異議ございませんか。
各 委 員	異議なし。
美濃教育長	異議なしと認めます。よって、議案第25号「松原市指定有形文化財の指定について」は可決されました。

田中教育総務
部次長

続きまして、その他案件「令和3年度決算状況について」の説明をお願いいたします。

それでは、令和3年度教育費の決算状況について、配付しております資料に基づきましてご説明させていただきます。

まず、令和3年度決算状況についての2ページをお開きください。

歳入額は、509億2,247万3,016円でございます。歳出額は、499億1,081万7,794円で、歳入歳出差引額は10億1,165万5,222円となっております。

次の3ページをお願いいたします。

こちらは、松原市の一般会計決算のうち教育委員会が所管する教育費の歳出分をまとめております。

令和3年度の教育費の歳出総額のうち、教育委員会所管分につきましては、左から3列目、3年度支出済額に記載しておりますが、一番上、27億4,666万22円となります。

令和2年度の決算額は、この右から2列目になりますが、33億1,525万2,642円ございまして、前年度と比較いたしますと、一番右の端の列に記載しておりますとおり、5億6,859万2,620円の減額となりまして、増減率は17.15%の減となっております。

また、一般会計歳出決算額総額に占める教育委員会所管分の教育費の割合は、前年度の5.71%に対しまして5.50%となっております。

続きまして、昨年度と比較して増減のあった主なものにつきましてご説明いたします。

なお、一番右端の列に、先ほどから申し上げておりますとおり、増減の額を記載しておりますのでご参考にしてください。

教育総務費は大きく減っております。これは、教育推進費における減額でございまして、ALTやJET-ALTなどの派遣等、外国語活動の充実やAIドリルの導入等による増額はあったものの、令和2年度におきましてGIGAスクール構想実現に向け、全児童・生徒への1人1台のタブレット端末や、充電保管庫等の配備が完了したことによるものでございます。

次に、小学校費、中学校費は共に減額となっております。

学校管理費におきまして、令和2年度におきましては新型コロナウイルス感染拡大防止対策や学習環境の改善のための消耗品や備品の購入、また普通教室への空調機器の設置が完了したことに伴う減額でございまして。

また、教育振興費におきましては、要保護、準要保護家庭への援助費におきまして、学校給食費の無償化に伴いその給食費分が減額となりました。

また、学校建設費におきましては増額となっておりますのは、小中学校のトイレ改造工事に係るものでございます。

次に、幼稚園費につきましては増額となっております。これは、幼保連携型認定こども園のわかばこども園の開園に伴う松原幼稚園、松原西幼稚園、まつかぜ幼稚園の廃園に伴う経費の減額はあったものの、幼児教育無償化に伴う私立の認定こども園の利用に対する給付費の増加によるものでございます。

次に、社会教育費は大きく減額となっております。減額の主な要因は、図書館費におきまして天美図書館移転に伴う備品購入費の増額はあったものの、令和2年度におきましては松原市民図書館の解体撤去工事が完了したこ

とによるものでございます。

最後に、保健体育費につきましては増額となっております。

学校給食費におきまして、年間を通しての給食費を無償としたことから増額になったものでございます。

以上、教育費全体のご説明とさせていただきます。

続きまして、各部の所管分につきまして、各部よりご説明いたします。

浦井理事

教育政策課所管の決算についてご説明申し上げます。

同じ資料の9ページをご覧くださいませようお願いいたします。

上段の教育委員会管理費につきましてでございますが、教育委員会開催に伴います必要な費用及び8月定例教育委員会で可決いただきました教育に関する事務の点検・評価結果報告書に、教育に関する学識経験を有します者からご意見をいただきました外部評価委員2名の報償費も含まれております。

次に、10ページをご覧くださいませようお願いいたします。

上段の文化の日表彰事業につきましては、松原市教育委員会表彰実施要領に基づきまして、松原市の教育の振興に関し功績顕著な個人、団体及び児童・生徒を表彰するものでございます。

令和3年度の表彰者は18人ございました。

以上、教育政策課所管分の説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

田中教育総務
課長

教育総務課の主な決算についてご説明させていただきます。

18ページをご覧ください。

上段の小学校管理事業、併せて21ページもご覧いただけたらと思います。

中段の中学校管理事業についてでございますが、市立小中学校のごみ処理や機械警備等の施設環境整備を行うことにより、安心して快適な学校生活が送れるよう、教育環境の充実を図ったものでございます。

小学校管理事業におきましては、令和3年度プール授業を実施しなかったことにより、光熱水費が減額となっております。また、小学校機械警備の委託料において入札により差額が発生したものでございます。

中学校管理事業におきましても、一部の学校におきましてプール授業が実施されなかったことにより、光熱水費が減額となったものでございます。

次に、同じく18ページをご覧ください。下段の小学校施設維持管理事業、併せまして22ページ上段の中学校施設維持管理事業についてでございます。

こちらにつきましては、市立小中学校の校舎内外の維持管理及び修繕に努め、教育施設を保全したものでございます。

小学校におきましては、高濃度PCBの処分を令和3年度中に完了することが法で規定されておりましたので、令和2年度及び令和3年度、2年に分けて処分を行いました。受入れ可能処分量が、令和2年度に3分の1の処分をしたんですけれども、令和3年度が3分の2残っていたため、令和3年度が前年度に比べて増えてしまっているという形になっております。

また、小学校におきましては、各小学校特殊建築物等定期調査業務委託を入札でさせていただいているんですけれども、その減額及び修繕料で減額とがありまして、予算と比べますと不用額が出ております。

次に、38ページをご覧ください。

上段の各小学校空調機器設置事業についてでございますが、こちらにつきましては、令和3年度につきましては天美南小学校及び天美西小学校の職員室の空調の入替えを行うことによりまして、教職員の働きやすい環境づくりに努めさせていただきました。

なお、前年度は普通教室の空調機を設置、小学校15校、中学校6校を令和2年度に整備しておりましたので、令和2年度と比較しましても令和3年度のほうが、かなり予算が下がっている形になっております。

次に、同じく38ページの下段の小学校施設の整備事業及び次の39ページ上段の中学校施設の整備事業についてでございますが、こちらにつきましては、令和2年度につきましては松原第七中学校のトイレ改修工事を行わせていただきましたが、令和3年度は恵我小学校及び松原中学校のトイレ改修工事を行ったものでございます。

なお、この事業につきましては、繰越しという形で書かせていただいている部分があるかと思うんですけども、国の令和3年度の補正予算に伴いまして、令和4年度実施しようとしていた事業の前倒し採択が行われまして、松原市におきましては三宅小学校、松原第三中学校のトイレ改造事業、天美小学校、松原第三中学校の大規模改造工事、松原第六中学校の大規模改造事業が補助採択されたことにより、令和3年度補正予算を上程させていただきました。年度内工事が完了できないというところでありましたので、繰越しさせていただきましたものでございます。

以上、教育総務課所管の事業の説明とさせていただきます。

森岡副理事

学校給食課所管分の主な事業について、ご説明させていただきます。

同じ資料の36ページをお願いいたします。

上段の学校給食業務事業でございますが、これにつきましては小学校15校の児童5,137人に対して学校給食を実施し、102万5,804食を提供したものでございます。

小学校給食の調理業務等につきましては、松原市が設立いたしました松原学校給食株式会社に委託しており、諸経費分を委託料として、株式会社の社員の人件費相当分を補助金として支出したものでございます。

また、令和3年度につきましては、小学校、中学校の学校給食費を無償化したことから、学校給食無償化補助金といたしまして、3億1,624万8円を支出したものでございます。

続きまして、下段をお願いいたします。

中学校給食事業でございますが、これにつきましては、中学校7校の生徒2,657人に対して学校給食を実施し、46万4,199食を提供したものでございます。

調理業務や配送業務等につきましては、衛生管理が徹底された調理場を持つ民間の事業者2社に委託したものでございます。

以上、学校給食所管分の説明とさせていただきます。

田中教育総務
部次長

続きまして、文化財課所管分についてご説明申し上げます。

実績報告書の33ページをお願いいたします。

上段になりますが、文化財課所管の調査・保存事業でございます。

市指定有形文化財の指定、令和3年度につきましては、来迎寺紙本著色融通念仏縁起絵巻をはじめまして、善正寺での文化財総合調査の実施や、埋蔵

矢野学校教育
部次長

文化財につきましても発掘調査を実施し、記録保存を行いました。

また、啓発冊子たじひのだよりの刊行をしまして、市内文化財の普及啓発及び次世代への継承を図ったものでございます。

以上、教育総務部所管分についての説明とさせていただきます。

猪俣教職員課
長

続きまして、学校教育部の所管分につきまして、主なものについて各課担当よりご説明いたします。

教職員課所管分の説明をさせていただきます。

まず、お手元資料の13ページをご覧ください。

13ページ、3段目にございます就学支援事業についてでございますが、児童・生徒一人一人の適正な就学支援を図るため、就学支援委員会を開催し、医師や臨床心理士による専門的な意味を聞きながら、就学相談を行ったところでございます。

続きまして、19ページをご覧ください。

1段目にございます支援教育運営事業(小学校)についてでございますが、教育上支援を必要とする小学生に対し、教育支援員を15名、介助員を18名配置し、それぞれの教育的ニーズに応じた指導支援に努めたものでございます。

続けて、2段目にございます医療的ケアを要する児童生徒への看護師配置事業(小学校)についてでございますが、医療的ケアを必要とする児童2名に対し看護師2名を配置し、就学機会の拡充を図ったものでございます。

続きまして、20ページをご覧ください。1段目でございますが、要保護及び準要保護児童支援事業(小学校)につきましては、経済的理由により就学が困難と認められる児童1,077人の保護者に対し、学校に必要な費用の一部を援助したものでございます。

令和3年度の認定率は、全児童の21.0%となっております。予算額に対して決算額が約4,000万円減っておりますが、こちらにつきましては、全児童・生徒を対象とした給食の無償化により、援助を行ったことによるものでございます。

続きまして、22ページをご覧ください。

2段目にございます支援教育運営事業(中学校)についてでございますが、小学校と同様、教育上の支援を必要とする中学生に対し、教育支援員を7名、介助員を4名配置し、それぞれの教育的ニーズに応じた指導、支援に努めたものでございます。

続きまして、23ページの1段目をご覧ください。

23ページ1段目、要保護及び準要保護生徒支援事業(中学校)についてでございますが、こちら小学校と同様、経済的理由により就学が困難と認められる生徒621名の保護者に対し、学校に必要な費用の一部を援助したものでございます。

令和3年度の認定率は、全生徒数の23.4%となっております。予算額に対して決算額が約3,000万円減っておりますが、こちらも小学校同様、全生徒を対象とした給食の無償化により、援助を行ったことによるものです。

以上でございます。

森教育推進課
長

教育推進課所管分の主な事業について、ご説明させていただきます。
12ページをご覧ください。

1 段目、国際化教育推進事業についてでございます。主には、市内小中学校にALTやJET-ALT等を派遣し、外国語教育とともに国際教育の充実を図るものでございます。また、中学2年生にはスコア型検定試験GTECを実施し、4技能、話す、聞く、読む、書くの力を把握することで、課題に正対した授業展開と、生徒自身が自分の強み、弱みを知り、主体的に学習することにつながってまいりました。

さらには、市内小中学校において、日本語指導を必要とする児童・生徒等に日本語指導協力員を派遣し、充実した支援につながってまいりました。

実施できなかった事業といたしましては、中学生を台湾台北市に派遣し、学校交流等を行っていた中学生海外交流事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とさせていただきます。

次に、16ページをご覧ください。

2 段目のセーフスクール推進事業についてでございます。

既に、インターナショナルセーフスクールの国際認証を取得している松原第三中学校区、松原第四中学校区、松原第七中学校区の出組成果を共有し、市内全ての小中学校で児童・生徒が主体となって、安心・安全な学校づくりを進めてまいりました。

令和3年度は、松原中学校区、松原第二中学校区、松原第五中学校区、松原第六中学校区の13校の現地審査並びに松原第三中学校区の3校の再認証の現地審査を実施し、見事、令和4年1月の合同認証式において、市内全ての小中学校が国際認証を取得することになりました。

市内全ての学校が国際認証を取得したということは、日本にとどまらず、世界でも初という快挙となりました。令和4年度も、なお、各校の出組の充実だけでなく、校区としての認証を目指すという新たなチャレンジの下、取組を進めております。

以上です。

前崎地域教育
課長

地域教育課所管分の主なものを説明させていただきます。
15ページをご覧ください。

上段の児童自己防衛力育成事業についてでございますが、児童の安全確保に向けて、小学1年生に防犯ブザーを配付するとともに、青少年の安全確保を目的として青少年対策会議事業に対する補助を行ったものでございます。

続きまして、27ページをご覧ください。

中段の地域・家庭の教育力向上についてですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校区でのフェスタは中止となりましたが、各校区でできる範囲での活動、クリーンキャンペーン等を実施し、地域の教育力、コミュニティづくりの推進を図ったものでございます。

以上でございます。

大西教育研修
センター長

教育研修センター所管分の説明をさせていただきます。

11ページ1段目の児童・生徒理解活動（心の教育）推進事業についてでございますが、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、また教育支援センターチャレンジルームの運営などを通して、いじめ、不登校、問題行動等への対応や未然防止等、生徒指導の充実を図ったものでござ

います。

令和3年度も、スクールソーシャルワーカーにつきましては、7中学校区全てに配置しております。

続きまして、15ページをご覧ください。

15ページ3段目の放課後学習等サポート事業についてでございますが、小中学校に学習支援アドバイザーを配置し、児童・生徒に向けて放課後等の学習支援を行うことで、自学自習力の向上と学習習慣の定着を図ったものでございます。

また、授業や家庭での学習に活用できるAIドリル教材を、令和3年11月より導入いたしました。

以上、学校教育部所管分の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

大宅いきがい
学習課長

市民協働部いきがい学習課の事業の主なものについて、説明させていただきます。

まず、28ページをお願いします。

下の段の公民館管理事業についてでございますが、5か所の公民館の運営や施設の適正な維持管理に要した経費でございます。

次に、29ページをお願いします。

こちら、生涯学習事業につきましては、各公民館で実施した講座等に要した経費でございます。事業内容につきましては、後ほど活動報告のところで説明させていただきます。

次に、31ページをお願いします。

市民図書館管理運営事業についてでございますが、読書の森と分館の5館の運営や施設の適正な維持管理に要した経費でございます。また、令和4年2月には、松原市民天美図書館を河内天美駅前に移転し、無料Wi-Fi、授乳室、児童コーナーを設置するなど、子どもから元希者まで気軽に読書に親しめるよう、読書環境の整備を図りました。こちらにつきましても、詳細は後ほど活動報告ところで説明させていただきます。

市民協働部の説明は以上です。

藪野子ども施
設課長

福祉部所管分のうち、主なものについてご説明させていただきます。

まず、24ページをご覧ください。

令和3年度の幼稚園費についてでございますが、まず、上段の幼稚園運営管理事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための必要な対策を講じながら、就学前に必要な教育の提供を行うとともに、幼児教育・保育の無償化により、保護者の経済的な負担の軽減を図ったものでございます。

下段の幼稚園預かり保育事業につきましては、市立幼稚園の教育時間終了後に、希望する保護者の園児を対象に預かり保育を全園にて実施することにより、子育て及び就労支援を図ったものでございます。

続きまして、25ページをお願いいたします。

下段の子育てのための教育施設等利用給付事業につきましては、幼児教育・保育の無償化により、3歳から5歳までの私立幼稚園に通う子どもの保育料の給付を行い、保護者の経済的な負担の軽減を図ったものでございます。また、年収360万円未満相当世帯及び第3子以降の子どもの副食費の給

	<p>付を実施いたしました。</p> <p>以上で、福祉部所管分の説明を終わらせていただきます。</p>
美濃教育長	<p>以上で説明は終わりました。</p> <p>ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
佐野委員	<p>前年度から小中学生にタブレットが配付されて、当然一人一人にアカウントが登録されていますよね。この話、1回出たかもしれないですが、そのアカウントで、そこに入っていた図書館の電子書籍なんかのログインができるという状態になっているんですか。</p>
大宅いきがい 学習課長	<p>全児童に配付されているタブレットにつきましては、今年度の4月からアカウントにパスワードを付与しまして、全児童・生徒に配付しておりますので、現状、各学校に配付されているタブレットで、松原市の図書館の電子書籍が閲覧できる状態になっております。</p>
佐野委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p> <p>それが1つと、あとはセーフスクールのことです。</p> <p>全中学校区で認定をもらった、これは当然いいことですし、学校のこれからの運営の中で、やっぱり後輩につなげていくという流れであるはずなんです。</p> <p>それはいいことですし、ああすごいなと思います。僕も参加させてもらって、いい活動だと思っていたんですが、再認証という話が出たときに、これから未来永劫ずっと再認証しないとイケないのかなというのが、すごく引っかかってしまうんです。これはどうなんでしょうか。</p>
森教育推進課 長	<p>令和3年度に、全校認証を受けることができました。これは、一つの大きな成果であるということと同時に、今、お話があったように、やはり安心・安全な学校づくりを進めていくということについては、セーフスクールに取り組むということと同時に進めていくことですので、私たちとしたら再認証を目指していくということは必要な流れだと思っておるところなんですけど、やはり全校、それぞれ学校単位で認証しましたので、やはり新たなチャレンジをしていく必要があるのではないかとということで、再認証を校区認証という形で進めようとしておるところです。</p> <p>今年度は、第四中学校区と第七中学校区の事前指導の年になりまして、来年度は現地審査になるんですけれども、今までは校区といってもそれぞれの学校で認証していたんですけれども、もう校区として認証するということですので、より一層学校が連携をして校区としての認証を目指すという、これは機構とも連携をして話を進めてきているんですけれども、初めての取組ということで、機構と連携をして話を進めながら、これは日本初というか、もう世界でもこういった例はあまりないということなんですけれども、松原市の特徴を生かした校区連携を前面に押し出していきたいなというふうに思っているところです。</p> <p>それで、再認証という形を進めていきたいと思っています。</p>

佐野委員

その取組は全然いいと思うんです。ただ、再認証するのに費用がかかりますよね。これ、初年度、初めて取るときに何千万円というのは分かる話なんです。

でも、再認証に同等の金額がかかるのは、とても引っかかってしまうんです。

いや、学校でやっていく必要のある内容として、やっぱり卒業して、入学して、この繰り返しで、どんどん新しくなってくるのは分かるのですが、やっぱり学校がそれをやっていかななくてはならないというのはありますよね。特に校区、中学校区でやるということだと思っているので、やっぱりそれを引き継いで受け継いで、また次年度に生かすというのが普通の流れになるはずなんです。

これが、認定しないといけないという流れではないと思うんですけれども、どうでしょうか。

森教育推進課長

年度当初というか、取組当初、やはり金額の部分というのはさすがにいろいろ相談をしながら進めてまいったとしても、大きな金額がかかってきたところもあったんですけども、長く続けていく中で、最初、松原第三中学校区が取り組んだときよりも、昨年度に取り組んだ学校の金額というのは、実はもう半分ぐらいの金額になっています。

それは、やはり取り組んだときの成果を共有することで、使えるものは使っていくということで、機構とも連携しながら話をしているところです。

今後、この校区連携という形になったときには、今まで1校単位で進めていたところが校区になりますので、3校ないしは4校で校区があるんですけども、3分の1というわけにはいきませんが、どういったところで持続可能な取組を進めていけるかというところで、相談に乗ってもらいながら進めているというところで、やはりお話があったように、当たり前ものを続けていくということだけに形式的にとられることなく、やはりこれまで成果があったものは前面に押し出して、自分たち独自でできるところは進めていく。

ただ、やはりセーフスクールですので、一旦それで外部の評価もいただきながら、子どもたちの取組を褒めてもらって伸ばしてもらってというようなことは、継続してやっていきたいなというふうに思っています。

以上です。

佐野委員

取組はもう全然、それでいいと思うんです。

美濃教育長

少しだけ、補足させてください。

再認証、再々認証というのが本当に必要なかどうかという議論も確かにあるんですけども、澤井市長の思いを代弁して言うなら、やはり子どもたちに国際認証という大きなゴールというか、ハードルというんでしょうか、それを越えさせてあげることによる達成感というのも、やっぱり見逃せないんじゃないのかというのが、思いとしてはあるわけです。

ですから、ノウハウが蓄積されるんだから、同じことをやればいいんでしょうという考え方もできるかもしれないんですけども、やはり一生懸命子どもたちが頑張っていく中で、目に見える形として、そういう外国の審査員の先生から、今は対面ではできないんですけども、オンラインでもいいの

和田委員	<p>で、そういう方と関わって、自分たちの取組をしっかりとプレゼンテーションして、そこで直接評価してもらえると、しかも、その成果として認証されるということによる教育的な効果は、大きいのではないかと、ということがありますので、費用の話は先ほど森課長もしていましたけれども、22校分報告書をこれまで作っていたのを、中学校区単位でやるということで、お金だけでなくマンパワーの部分でも大分省力化できる場所があるのではないかなと思っておりますので、そこはもう本当に削れる部分を削りながら、うまくやっていくという方向を我々も工夫はしているところでございますので、ぜひご理解いただければと思います。</p> <p>ほか、いかがでしょうか。</p>
田中教育総務課長	<p>2点あります。</p> <p>1つは、トイレの改造の関係なんですが、これ計画的に進めておられると思うんですけれども、今、進捗状況というんですか、あと何校ぐらい残っているのかというところを聞かせていただけたらと思います。</p> <p>次に、20ページに要保護、準要保護のところの支援の関係で、小学校、中学校あったと思うんですけれども、小学校で1,000人に対して国庫支出金が23万1,000円しかついていないんです。</p> <p>それだと、1人当たり200円ぐらいしかついていないということなので、この内訳、国庫支出金はどんな名目でついてきているのかなと、参考のために教えてほしいというのが質問です。</p> <p>以上です。</p>
和田委員	<p>トイレの改修なんですけれども、今年度もさせていただいておまして、順次させていただいているんですけれども、やはり学校のトイレというのは生徒が日常使っているもので、老朽化とか劣化はやっぱりしてきますので、それらを踏まえて改修をしていっているところです。</p> <p>それと洋式化率、今も基本的に洋式化ということでもらせてもらうんですけれども、洋式化率の低い学校の洋式化率を上げるために、順次一番低いところとかを改修して行って、より子どもたちが使いやすい状況にしていくのと、今でありますと改修の際に多目的トイレとか、車椅子の方が使える、LGBTとかそういう方も使えるという形で、多目的トイレの設置とかも併せてさせていただいて、その時々に応じた形でのトイレを提供できればという形でさせていただいています。</p>
田中教育総務課長	<p>あと何年ぐらいで、一応全校行き渡るのかなというところを、見通しとして教えていただけたらと思います。</p>
猪俣教職員課長	<p>実際一巡はもうさせていただいているんですけれども、やはりもうやっってから30年経っているようなところもありますので、そういう先にやったところをまたやらないといけないので、順次トイレの改修というのは必要になってきます。</p> <p>先ほどご質問ありました要保護及び準要保護の国庫支出金の内訳についてなんですけど、今手元に資料がございませんので、きちんと調べてからご説明するべきかと思っておりますので、次回またお時間をいただきまして、説明さ</p>

美濃教育長	せていただきたいと思います。
各 委 員	ほか、何かありますでしょうか。よろしいですか。
美濃教育長	なし。
大宅いきがい 学習課長	<p>では、令和3年度決算状況についての説明は以上で終わります。それでは、ここで福祉部の職員は、退席をお願いします。</p> <p>それでは、その他案件「松原市民図書館活動報告（令和3年度）の提出について」の説明をお願いいたします。</p> <p>松原市民図書館活動報告（令和3年度）について、説明させていただきます。薄いこちらのピンク色の冊子をお願いします。</p> <p>こちらは、市内6か所の松原市民図書館の1年間の活動内容をまとめたもので、毎年作成しております。中身を説明させていただきます。</p> <p>まず、3ページをお願いします。</p> <p>こちらは、市民図書館の歩みをまとめたもので、例えば下のほうの令和3年度のあたりを見ていただきたいんですけども、天美図書館が令和4年2月に河内天美駅前に移転しました。</p> <p>続きまして、4ページをお願いいたします。</p> <p>こちらは、図書館と文庫システムマップということで、松原市の中心地にある読書の森を中心にして、各図書館や学校等の連携を表した表でございます。</p> <p>次に、5ページをお願いします。</p> <p>こちらは、市内6か所の図書館の規模や建設費用を記載しております。</p> <p>次に、7ページをお願いいたします。</p> <p>こちらは、図書館の職員のスキルアップを図るために行った研修の一覧で、このように計画的に研修を受けることで、図書館サービスの向上につなげております。</p> <p>次に、8ページをお願いいたします。</p> <p>こちらは、図書館の蔵書数をまとめたものです。左の表の下のほうですけども、2021年度末では約45万冊を蔵書しております。そのうち、括弧で書いています約17万冊につきましては、児童書ということでございます。</p> <p>同じページの右上の表は、先ほどの45万冊を図書館別に表したもので、中央館である読書の森が約全体の4分の1を占めていることが分かります。</p> <p>次に、11ページをお願いします。</p> <p>こちらは、年度別の貸出し冊数をまとめたものでございます。表の下のほうを見ていただきたいんですけども、2020年度、21年度については※書きにもありますように、コロナウイルスの関係で臨時休館がありましたが、そのような中でも令和2年、2020年1月26日に読書の森がオープンしたことや、コロナ禍においても宅配サービスや様々な感染対策を講じた結果、少しずつではありますが増加傾向にあります。</p> <p>次に、12ページをお願いいたします。</p> <p>こちらは、年度別の利用者数をまとめた表で、年間で図書館を借りた方の実数を表しています。なお、延べ人数ではなく実際に借りた人の人数で、例え</p>

	<p>ば2021年度であれば1万2,350人の方がご利用しております。</p> <p>これを、人口の11万7,000人で割りますと10.5%となり、年間で約10人に1人の方に図書の貸出しを行ったということになります。</p> <p>次に、13ページをお願いします。</p> <p>こちらは、図書館別の貸出し状況をまとめたもので、上の表を見ますと、図書の貸出し総数として51万9,918点でございます、これに対して読書の森が占める割合が34万7,728点となっておりますので、全体で7割程度が読書の森の貸出しということになります。</p> <p>次に、15ページをお願いいたします。</p> <p>こちらの下の広域利用統計というところを見ていただきたいんですけども、こちらの表にありますように、12の市町村と協定を結ぶことで、他の市町村の方にも松原市の図書館を利用いただいている、その状況を表しております。また、その逆に松原市の方が、例えば羽曳野市や藤井寺市の図書館を利用することもできます。</p> <p>このように、様々な取組をしているわけですが、今後につきましてもコロナ対策を講じながら、また読書に関わっていただいているボランティアの皆さんの協力も得ながら、より市民の皆様に読書に親しんでいただけるよう、読書環境の充実に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
美濃教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。お願いします。</p>
佐野委員	<p>12ページの利用率が、2015年ぐらいから落ち出していて、今、何とか10.5になっているみたいですが、これは何か理由がありますか。</p>
大宅いきがい学習課長	<p>考えられる理由としましては、11ページの表にありますように、2015年と16年は、中央図書館の読書の森ができることに伴い統廃合となったところがありますので、その地域の利用が少し減ったものの、読書の森ができたことによって、その減った数字も少しずつ回復してきているのではないかなというふうに考えております。</p>
佐野委員	<p>だから、これはあと15くらいまで戻ってくれたらなというところなんですね。</p>
大宅いきがい学習課長	<p>そうですね、元を超えられるように、これからも努めていきたいと考えております。</p>
和田委員	<p>7ページの職員研修に関わってなんですが、読書の森の職員の方々は、委託しているということになりますよね。だから、ここでされた職員研修に参加されている方というのはどのような方になるのか。年度雇用職員等いろいろ書いていますが、これに参加されている方々の状況を教えてください。</p>
大宅いきがい学習課長	<p>この一覧につきましては、読書の森と直営の分館を合わせた分の研修の一覧ですので、読書の森の方もこの中で出ているということですので</p>

	います。
和田委員	分かりました。
美濃教育長	ほかにございますか。よろしいですか。
各委員	なし。
美濃教育長	では、続きまして、その他案件の「松原の公民館活動（令和3年度）の提出について」の説明をお願いします。
大宅いきがい 学習課長	<p>続きまして、松原の公民館活動（令和3年度）について説明させていただきます。</p> <p>こちらの薄い黄色の冊子をお願いいたします。</p> <p>こちら、市内5か所の公民館の1年間の活動内容をまとめたもので、毎年作成しております。</p> <p>まず、3ページから8ページでございますが、こちらは生涯学習の機会の拡充ということで、特に令和3年度の実績を踏まえたものではなく、また社会教育の重点事項にも掲載されておりますので、割愛させていただきます。</p> <p>9ページ以降が、生涯学習事業の具体的な講座等の事業について、掲載されております。</p> <p>まず、9ページをお願いします。</p> <p>こちらは、居場所づくりということで位置づけまして、子育て中、男女共同参画、一般、わくわくキッズと各ジャンルで展開しており、詳細については、12ページ以降に記載されております。</p> <p>例えば、12ページをご覧いただきたいんですけども、12ページの下にあります「親と子で楽しむ～プログラミング学習体験」ということで、今、学校でも授業で教わるプログラミングについて、親子で学べる講座を行いました。</p> <p>次に、10ページにお戻りください。</p> <p>10ページは、地域活動支援要請ということで、その講座の一覧であります。詳細については、17ページ以降に記載されております。</p> <p>これらの講座につきましては、講座を受講者が単に受けるだけではなくて、今後各講座のボランティアの担い手になっていただくことも目的としておりまして、例えば18ページを見ていただきたいんですけども、こちらはけん玉教室ということで、日本けん玉協会の資格を持っている方が講師を務めていただいて、今後の担い手になっていくことも目的に講座を実施したものでございます。</p> <p>もう一度、11ページにお戻りください。</p> <p>こちらは、地域の仲間づくりの教室の一覧であります。詳細については、25ページ以降に記載されておりますが、例えば25ページをお願いいたします。</p> <p>こちらにつきましては「60歳からの“ゆったり・これから倶楽部”」ということで、6回変則の講座を開催しまして、講座を受けるとともに、参加者同士の交流の場にもなっております。</p> <p>このように、公民館ではいわゆる貸館として市民の自主的な活動の場とな</p>

っているだけではなくて、様々な方を対象にした講座を開催しまして、地域の社会活動の拠点としてご利用いただいております。

今後も、市民の方のニーズを捉えながら、他市で好評になっている事例等も踏まえながら、より利用していただける公民館を目指していきたいと考えております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

比嘉委員

1点、意見ではないんですけども、初めてこういういろんなことを聞かせてもらって、例えば今のけん玉教室なんて、私は今、72歳ですけども、小学校の時分に、子ども同士で遊んでやっていたんですよ。今は、こんなものはないですよ。

だから、こういうふうに、昔からの遊びというのを伝えていくのは非常にいいことだなと思って感心していました。

それと、その60歳からの地域の仲間づくり、こういうのは独りでいてなかなか出られない人が、こういうことで出て、すごくいい取組だなという感想です。私も、こういう活動に参加したいです。ありがとうございます。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかにありますでしょうか。よろしいですか。

各委員

なし。

美濃教育長

これで案件のほうは終わります。

ほか、何か特にというものがありましたら。

和田委員

8月のニュースで、中3の進路指導に関わってなんですけれども、平野高校と美原高校がどちらも令和6年度から募集停止ということが、今そういう計画をしているということが報道されました。平野高校はほぼ松原市内のようなものですし、美原高校も松原市の隣です。

だから、市内の中学校の子たちの進路指導に、かなり関わるんじゃないかなというふうに心配しているんですけども、そのあたりの状況はどうなっているか教えていただけませんか。

山森学校教育
部長

ありがとうございます。

おっしゃられますように、大阪府立平野高等学校と、大阪府立美原高等学校が、令和6年度以降の募集を停止をするということで、それが8月29日の大阪府の教育委員会議で、決定ではないんですけども、公表という形でされました。

実は、当然、立地市である大阪市や堺市には、大阪府教委のほうから説明があったと思うんですけども、和田委員がおっしゃられたように、松原市というのはどちらも本当に近くにあって、たくさん子どもたちがこれまでお世話になった学校、近隣市ということで、8月29日の教育委員会議に前もって、大阪府のほうから説明がございました。

その説明の際、私たちは事務局として、今おっしゃられたとおり、子どもたちに影響がないかというところが非常に気になりました。

ですので、すぐに7つの中学校の現状、つまり両校に対してどれぐらいの子どもたちが進学をしているのかという、実数を把握するとともに、加えましてこの両校がなくなることで、松原市の7つの中学校の進路指導がどれぐらい影響を受けるだろうかということについて、各校からヒアリングをさせていただいたと、これが経過でございます。

実態を申しますと、かつて、具体的に言いますと今から四、五年前の平成30年、31年の頃というのは、かなりの数の生徒が両校に行っていた。具体的に言いますと、平成31年には両校合わせまして65名と、当時の松原市の在籍が1,000名弱ですので、1,000名弱のうちの65名程度が両校に進学をしておったと。

ところが、現在、直近の数字で申しますと、令和4年度の進学者数というのは両校合わせて20名少しというふうに変ってきていると、随分減ってきているということもございます。これは、少子化のこともございまして様々な要因があるわけですが、そういったことで、現場の声を把握する限り、この子たち二十数名というのを各校の頭で割りますと、大体3名ないし4名ということですので、影響がないわけではありませんけれども、進路指導の中で何とか吸収できるだろうということは、手応えとして聞いております。

ただし、やはりこの各校3名、4名という子どもたちに影響があることは間違いございませんので、今後、各現場の中学校長とも連携しまして何らかの形で、教育委員会事務局としましても大阪府のほうには要望というか、申入れはさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

和田委員

やはりこの2高校とも、どちらかというところと高校へ行きたいという子どもたちを受け止めてきてくれた学校なので、そういう子どもたちに影響が出ないように、ぜひ取組のほうをよろしく願います。

山森学校教育
部長

ありがとうございます。

美濃教育長

ほかにもございますか。よろしいですか。

各委員

なし。

美濃教育長

それでは、以上をもちまして9月の定例教育委員会を終わりたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。

(閉会宣言 午後5時40分)

署 名 教育長 美濃 亮

委 員 佐野 恭彦